

## G3m上の不動化アルカリフォスファターゼ

Cat. No. NATE-1774

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** G3m: 24 µg (100単位) のデキストランに固定化されたホスファターゼ per CR-column。  
Nr. 15 保存バッファー: 50 mM Tris/HCl, pH 8.0 Nr. 18 反洗バッファー: 50 mM Tris/HCl, 0.1 mM ZnCl<sub>2</sub>, 1 mM MgCl<sub>2</sub> pH 8.0 長い分子の場合は高温 (37 °C から 50 °C) を使用してください。カラムをインキュベーターまたは予め温めたバッファーに入れてください。 Nr. 17 洗淨バッファー: 50 mM Tris/HCl, 1 M NaCl, pH 8.0

**別名** アルカリフォスファターゼ; ALP; ALKP; ALPase; アルクフォス; EC 3. 1. 3. 1; アルカリフォスホモノエステラーゼ; グリセロフォスファターゼ; フォスホモノエステラーゼ

### 製品情報

**由来** 腸詰め

**EC番号** EC 3. 1. 3. 1

**プロトコル**

1. 配送されたバッファーを (各2 ml以上) 無菌の二重蒸留水で希釈します。1回のアプリケーションに必要なもの: 2 ml 5x 反洗バッファーと8 ml 二重蒸留水 2 ml 5x 洗淨バッファーと8 ml 二重蒸留水 1 ml 10x 保存バッファーと9 ml 二重蒸留水 基質は反洗バッファーに入れておく必要があります。
2. CRカラムを10 mlの反洗バッファーで平衡化します。10 mlの反洗バッファーをシリンジに入れ、重力で反洗バッファーをカラムを通して上部フィルターまで流します。バッファーの流れが非常に遅い場合は、シリンジで圧力をかけてください。
3. 反洗バッファー中の基質溶液をロードします。小さな体積 (< 70 µl): CRカラムをベンチトップ遠心分離機で5秒間回転させます (2000 rpmで十分です)。基質溶液がマトリックス材料に入るのを待ちます。大きな体積: 基質溶液をカラムを通して流します。流量: 最大70 µl/分 基質をカラム内に約1分間室温で保持します。基質を再度カラムに適用するか、長時間インキュベートすることで、より高い回転率が得られます。
4. 製品溶液を溶出します。小さな体積 (< 70 µl): カラムから製品を遠心分離します。大きな体積: 基質をカラムを通して流し、残留溶液をマトリックスから遠心分離します。注意: 700ダルトン未満の分子は7 mlの反洗バッファーで溶出する必要があります。カラムが乾燥しても害はありません。
5. カラムを10 mlの洗淨バッファーで洗淨します。
6. カラムを10 mlの保存バッファーで平衡化します。カラムを4 °Cで保管します。CRカラムを凍結しないでください!

### 保管・発送情報

**保存方法** 4 °C